

対人援助学会京都大会『やりがい、生きがいのある対人援助を次代につなぐ』プレ企画
対人援助学会 研究会 第32回（通算56回）

精神医療現場における対話文化の取り組みから 対人援助の可能性を考える

日時：2024年9月27日（金）20～22時（オンライン）

講師：館澤謙蔵さん（精神保健福祉士・同志社大学嘱託講師）

講演内容

京都大会のプレ企画として、精神医療現場のワーカーとして精神障害当事者の回復や退院促進をはじめ地域移行など、安心できる社会生活の支援に携わってこられた館澤さんをお迎えしてご講演頂きます。

近年、精神医療現場では脱施設化を進め地域生活での支援への転換を図ることが進んだとはいえ、いまだに長期社会的入院者と高齢化した死亡退院者が生み出される構造が改善されない現状があり、閉ざされた病棟の中での人権侵害も後を絶ちません。

国連の勧告においても、私たちの社会や精神科病院体制がもたらす組織風土の変革が求められるなど、対人援助分野の課題として医学モデルに基づくバタナリズムから脱却すること、優生思想から脱却して人権モデルへの転換が必要となっています。

今回の学習会ではその問題解決のヒントを学ぶ機会として、館澤さんが病院や地域において進めている当事者と支援者をつなぐ営みや、価値が異なる支援者同士の多職種連等との働きを通して、すべての人をエンパワメントに導く「未来語りのダイアログ」の実践についてお話しいたします。

本学習会では、館澤さんのお話する精神医療現場の支援や協働、さまざまな対話で得たものの内実を通して、私たち援助職のあり方や生きがいを考える機会としたいと思います。

申込方法

yangyangil21@hotmail.com までメールでお名前、ご所属、電話番号を添えて参加希望と申し込みください。Zoomの案内を送ります。

主催

対人援助学会研究委員会 対人援助学会研修・交流員会